



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	編集後記
Author(s)	
Citation	教授学の探究, 28
Issue Date	2011-02-18
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/44879
Right	
Type	bulletin (other)
Additional Information	



Instructions for use

【編集後記】

今号は教育実践の報告2編です。教授学の研究が教育実践に基づくのは当然だろうと言われればそれまでです。しかし、真剣に考えれば考えるほど、難しい活動だと思えます。仮説を立て、授業プランを設計、開発し、それを実際に行ってみて結果から仮説の是非を検証するという流れ通りに遂行できたのなら、それだけでも大成功です。上流から下流へとスムーズにことが運ぶことはなく、行ったり来たりしながら試行錯誤するというのが実際ではないでしょうか。それを論文にまとめるとなるとやっかいです。さも最初からそのように考えていたかのように筆を進めると、うっかりすると限りなくねつ造に近づいてしまいます。愚直にありのままを書くと、あちらこちらへと読者を引っ張りまわすことになります。論文の書き方を思案するだけでは解決できない難しさがあります。ここが執筆者の腕の見せ所ということになります。【E】

編集委員

大野 栄 三

大竹 政 美

教授学の探究 第28号

2011年2月14日 印刷

2011年2月18日 発行

編集・発行 北海道大学大学院教育学研究院
教育方法学研究室
(060-0811 札幌市北区北11条西7丁目)

印刷所 北海道印刷企画株式会社
(064-0811 札幌市中央区南11条西9丁目)
